



いつの世も、
おもしろい。

600年という時間の中で磨かれた
狂言の表現技術は、現代においても、
たくさんの人々を楽しませています。

野村万作 新狂言の会

演目 狂言「隠狸 かくしだぬき」

狂言「六人僧 ろくにんそう」

出演 野村万作 野村万之介

野村萬齋 石田幸雄 ほか



MANSAKU NOMURA
TAKIGI KYOGEN

2009.7.8 (水) 開場18:30 開演19:00

黒部市国際文化センター コラーレ | 野外能舞台 400席限定 | 一般 6,000円 高校生以下 2,000円 障害者手帳をお持ちの方 5,000円

□当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入場いただけます。チケットはコラーレだけで発売いたします。

◎この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。◎未就学児の入場はご遠慮願います。◎公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

◎雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。荒天の場合は、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催：財団法人黒部市国際文化センター 共催：北日本新聞社 協賛：チューリップテレビ 後援：黒部市 黒部市教育委員会

闇に浮かび上がる能舞台、水面に揺らめく二本のかがり火、野村万作・萬斎親子が舞い謡う―。

狂言のさまざまな面を

コラーレ野外能舞台での新狂言も、回を重ねて十五回目となりました。定着した観客、そして新しいお客様にご覧いただくプログラムを考えると、面白い曲だけでなく、狂言のさまざまな面を見ていただきたいと、思いをめぐらせています。

今回の「隠狸」は、主人に内緒で狸を捕まえて市場に売りに行こうとしていた太郎冠者と主人の攻防を描いたお話です。「六人僧」は、怒らないと誓いを立てて友人たちと旅に出た男が、途中で寝ている間に髪を剃られ、その仕返しに友人たちの妻たちを尼にしようという、狂言には珍しく演劇的な場面転換の多い曲で、ともに私ども和泉流の専有狂言です。お楽しみいただければ、幸いです。

野村万作

野村万作

狂言師



一九三三年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。万作の会(主宰。狂言の秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊国屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞など、多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ、大ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に「月に憑かれたヒエロ」「子牛線の祀り」「秋江」「法螺待」などがある。著書に「太郎冠者を生かす(白水社リブックス)」、「狂言三人三様・野村万作の巻」(岩波書店)がある。

野村万之介

狂言師



一九三九年生。故六世野村万蔵の五男。父に師事。重要無形文化財総合指定者。「万之介狂言の会(主宰。狂言界の代表的演者の一人。芸術選奨文部大臣新人賞受賞。亡父の洒脱さを継承した芸には定評がある。「万作の会」の重要メンバーとして、海外公演にもたびたび参加。また、東京大学、早稲田大学の狂言サークルを指導して久しい。

野村萬斎

狂言師



一九六六年生。野村万作の長男。祖父・故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。狂言でざる乃座(主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊国屋演劇賞、朝日舞台芸術賞等を受賞。著書に「萬斎でござる」「MANSAI」◎解体新書(朝日新聞社)、「狂言三人三様・野村萬斎の巻」(岩波書店)等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。

石田幸雄

狂言師



一九四九年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「雙ノ会(主宰。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の「三番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。また新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評がある。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加。日本大学芸術学部、学習院大学非常勤講師。「雙ノ会」で二〇〇六年度芸術祭大賞を受賞した。

薪狂言 番組

解説 石田幸雄

火入れの儀

狂言

隠狸

かくしだぬき

主人に隠れて狸を取っている太郎冠者。噂を聞いた主人に狸を捕つて来るよう頼まれますが、狸など捕つたことにはないとシラを切ります。主人は太郎冠者に、すでに狸汁を振舞おうと客を招いているので、狸を市場で買ってくるよう命じます。実は昨夜も大狸を捕まえていた太郎冠者は、主人に黙って売つてしまおうと市場へ行きますが、様子を見に来た主人と出くわしてしまいます。狸を隠して必死に取り繕う太郎冠者は、主人に酒を勧められ、調子に乗るうちに……。

主人と太郎冠者の絶妙な駆け引きが笑いを誘います。酒宴の場面に登場する狂言小舞「兎」「花の袖」「鶴飼」も見どころとなっています。

太郎冠者 野村萬斎 主 深田博治

狂言

六人僧

ろくにんそう

仲間の男二人と旅に出た男が、寝ている間に仲間たちに髪を剃られてしまいます。絶対に腹を立てないという誓いを立てていたため、何をされても怒れない男は先に帰宅。仲間の男二人の妻に、男たちは溺死したと告げ、出家して弔うよう勧めます。一方、男は仲間たちにも、妻たちは死んだと伝えるのですが……。

登場人物や場面の展開が多く、演劇的な要素が強い異色の作品です。落語「百人坊主(大山詣り)」の元になった曲でもあります。

参詣人 野村万作

参詣人 野村万之介
参詣人 石田幸雄
妻 高野和憲
妻 竹山悠樹
妻 月崎晴夫



コラーレ

Tel.0765-57-1201

富山県黒部市三日市20番地

Fax.0765-57-1207

www.colare.jp

【開館時間】9:00~22:30(土曜~23:00)